

数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム
令和 6 年度第 1 回四国ブロック運営会議議事次第

日 時 令和 6 年 6 月 1 7 日（月） 1 6 : 1 0 ~

場 所 愛媛大学 城北キャンパス

E.U. Regional Commons（ひめテラス） 3 階

地域サステナビリティスペース

参 加 者 別紙名簿のとおり

形 式 対面及び遠隔(Microsoft Teams)開催

議 題

1. 各県の取組状況について
 - ・各県のヒアリング実施状況
2. 四国経済産業局との協力体制について
 - ・実務実教員派遣について
3. 「標準教材データベース構築ワーキング第 1 カテゴリー」WG における香川
大学作成教材に関する意見聴取
4. その他
 - （1）次回運営会議について

配付資料

議題資料 1 数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム四国ブ
ロック内の大学・高専一覧

議題資料 2 実務家教員派遣希望様式（サンプル）

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム
令和6年度第1回四国ブロック運営会議出席者名簿

日 時 令和6年6月17日（月）16：10～
場 所 E.U. Regional Commons（ひめテラス）3階
地域サステナビリティスペース

国立大学

機関名	所属等	職名	氏名	遠隔参加
徳島大学	デザイン型AI教育研究センター	センター長・教授	寺田 賢治	遠隔参加
	教養教育院 (デザイン型AI教育研究センター)	准教授 (AI教育推進部門長)	大藪 進喜	
	デザイン型AI教育研究センター	助教	瓜生 真也	
鳴門教育大学	技術・工業・情報科教育コース	准教授	阪東 哲也	
	数学科教育コース	准教授	田中 晴喜	遠隔参加
	学習指導力・ICT教育実践力開発コース	講師	石川 勝彦	遠隔参加
愛媛大学	理事・副学長		八尋 秀典	
	大学院理工学研究科	教授	平野 幹	
	大学院理工学研究科	教授	松浦 真也	
	大学院理工学研究科	教授	二宮 崇	
	教育学部	准教授	原本 博史	
	大学院農学研究科	教授	羽藤 堅治	遠隔参加
	デジタル情報人材育成機構 データサイエンスセンター	准教授	石川 勲	
	大学院理工学研究科	教授	尾國 新一	
	大学院理工学研究科	助教	高橋 裕子	遠隔参加
	社会共創学部	助教	岡村 伊織	
高知大学	理工学部門	教授	佐々 浩司	
	理工学部門	教授	野村 昇	遠隔参加
	理工学部門	教授	三好 康夫	
	データサイエンスセンター	特任講師	菅原 武志	遠隔参加
	データサイエンスセンター	特任助教	李 冠軍	遠隔参加
香川大学	大学教育基盤センター	センター長 教授	高橋 尚志	
	大学教育基盤センター	副センター長 教授	林 敏浩	
	大学教育基盤センター	数理情報・遠隔教育部長 教授	宮崎 英一	
	大学教育基盤センター	特命講師（数理DS）	藤澤 修平	
	地域強靱化研究センター	特命講師	久保 栞	遠隔参加

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム
令和6年度第1回四国ブロック運営会議出席者名簿

陪席者

機関名	所属等	職名	氏名	遠隔参加
愛媛県立医療技術大学	保健科学部看護学科	准教授	金澤 知典	

機関名	所属等	職名	氏名	遠隔参加
松山東雲女子大学 松山東雲短期大学	人文科学部心理こども学科	教授	小西 敏雄	

機関名	所属等	職名	氏名	遠隔参加
新居浜工業高等専門学校	電子制御工学科	准教授	占部 弘治	遠隔参加
弓削商船高等専門学校	情報工学科	准教授	榎本 浩義	

機関名	所属等	職名	氏名	遠隔参加
四国経済産業局	製造産業・情報政策課	情報産業係長	合田 俊樹	
	製造産業・情報政策課	総括係長	小松あゆみ	

機関名	所属等	職名	氏名	遠隔参加
徳島大学	学務部教育支援課	課長	岩森 清澄	
	学務部教育支援課	副課長	白田 智子	遠隔参加
鳴門教育大学	教務部教務課教務係	係長	大林 洋之	遠隔参加
	教務部教務課教務係	係員	三室 俊治	遠隔参加
愛媛大学	情報推進課	事務補佐員	西岡 佐緒里	
	デジタル情報人材育成機構 データサイエンスセンター	研究補助員	石川 由美	
高知大学	学務部学務課	課長	前田 薫	遠隔参加
	学務部学務課全学・共通教育係	係長	福島 愛加	遠隔参加
	学務部学務課全学・共通教育係	係員	晦日 研	遠隔参加
愛媛県立医療技術大学	事務局教務学生グループ	主事	松田 美保	
香川大学	教育・学生支援部	部長	藤沢 博伸	遠隔参加
	教育・学生支援部 修学支援課	課長	角田 圭美	
	教育・学生支援部 修学支援課	再採用職員	澤井 直樹	
	ICT教育推進室	技術補佐員	中村 可奈	遠隔参加
	教育・学生支援部 修学支援課	事務補佐員	細川 世子	
	教育・学生支援部 修学支援課	事務補佐員	萬木 理恵	

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム四国ブロック内の大学・高専　一覧

種別	校数	大学名	コンソーシアム入会状況	リテラシーレベル認定状況	応用基礎レベル認定状況	備考 ※新設学部 of 予定など
国立大学	5	徳島大学	○	R 4 年度認定		
		鳴門教育大学	○	R 4 年度認定		
		香川大学	○	R 3 年度認定	R 4 年度認定	
		愛媛大学	○	R 3 年度認定		
		高知大学	○	R 4 年度認定		
公立大学 ※高知工科大学は高知県立大学と合併	4	香川県立保健医療大学	○	R 5 年度認定		
		愛媛県立医療技術大学	R 6 年 4 月入会			
		高知県立大学	○			
		高知工科大学				R 6 年度 データイノベーション学群新設予定
私立大学	10	四国大学	○	R 4 年度認定		
		徳島文理大学	○			
		四国学院大学				
		高知学園大学				
		聖カタリナ大学	○			
		松山大学				R 7 年度 情報学部新設予定
		松山東雲女子大学	○	R 5 年度認定		
		高知リハビリテーション専門職大学				
		高松大学	○	R 5 年度認定		
		高知健康科学大学				R 6 年度 新設
私立短期大学	11	四国大学短期大学部	○	R 4 年度認定		
		徳島文理大学短期大学部	○			
		徳島工業短期大学				
		香川短期大学	○			
		高松短期大学	○			
		せとうち観光専門職短期大学	○			
		今治明德短期大学				
		聖カタリナ大学短期大学部				
		松山東雲短期大学	○	R 5 年度認定		
		松山短期大学				
		高知学園短期大学				
高等専門学校	5	国立 阿南工業高等専門学校	○	R 3 年度認定		
		国立 香川高等専門学校	○	R 4 年度認定		
		国立 新居浜工業高等専門学校	○	R 4 年度認定		
		国立 弓削商船高等専門学校	○	R 5 年度認定		
		国立 高知工業高等専門学校	○	R 4 年度認定		
私立高等専門学校	1	神山まると高等専門学校	○			

香川大学

宛

年

月

日

学校名		讃岐大学							
講義名		讃岐うどん情報学							
対象学年・学部		全学部2年次～							
開講時期		2024	年度	前期	4	月	～	7	月
担当教員		讃岐 愛							
講義内容		※シラバスをベースにご記入ください。 ※該当するシラバスのページをPDFデータを添付してください。							
	講義の到達 目標及びテーマ	・讃岐うどんの文化的背景を説明できる。 ・データサイエンスの基本的な手法を説明できる。 ・讃岐うどんに関連するデータをデータサイエンスの手法により収集・分析し、課題の解決に活用できる。							
	全体カリキュラム (情報、数理・ データサイエン ス)における本講 義の位置づけ	讃岐うどんの文化・市場を通じて、データサイエンスの基礎から応用までを学ぶ。さらに、実際のデータを用いた分析やAI技術を活用した需要予測の方法を身につける。加えて、業界の専門家からの講演やワークショップを通じて、実社会におけるデータの活用方法を学ぶ。これにより、実データを基にした判断力と問題解決スキルを身に付ける。 1. 讃岐うどんと情報学の出会い：データサイエンスを通じた文化の解析 2. データの世界へようこそ：データサイエンス基礎 3. うどん消費データの探索：オンラインで見つける市場のトレンド 4. データを整える技術：前処理の基本 5. グラフで見るうどんの世界：探索的データ分析 6. AIのひみつ：機械学習入門 7. 未来のうどんを予測する：AIによる需要予測 8. 手を動かして学ぼう：需要予測モデル作成の演習 9. 実践！うどんデータの分析 10. うどん市場を読み解く：消費動向分析 11. 讃岐うどんの科学：伝統製法の数理モデル化 12. データが語る讃岐うどんの未来 13. ゲスト講演：うどん業界のデータ活用事例 14. ゲストワークショップ1：うどんデータの収集・加工 15. ゲストワークショップ2：うどんデータの活用 16. 成果発表会							
	講義形式	対面授業							
キーワード		データサイエンス、課題解決、讃岐うどん							

※続けて②シートをご回答ください

実務家教員への依頼事項	
依頼したいコマ数	※実務家教員に担当してもらいたいコマ数（授業回数）をご記入ください 全 16 コマ中 4 コマ
講義日時・内容	※複数日ある場合はすべてご記入ください
	※行が不足する場合は適宜追加してください
	① 2024 年 7 月 5 日 13 時 0 分 から 14 時 30 分 まで 「13. ゲスト講演：うどん業界のデータ活用事例」として、ご講演いただきます。貴社における讃岐うどん関連のデータ分析・活用事例をご紹介いただき、学生が理論だけでなく、実際のビジネス適用例にも触れることができるようにしていただきたいと思います。
	② 2024 年 7 月 12 日 13 時 0 分 から 14 時 30 分 まで 「14. ゲストワークショップ1：うどんデータの収集・加工」として、学生のグループワークショップ講師をご担当いただきます。データの収集から分析、そして活用に至るまでの一連のプロセスを、実際のデータを用いて学生が体験できる2コマ分のワークショップの進行をお願いいたします。
	③ 2024 年 7 月 19 日 13 時 0 分 から 14 時 30 分 まで 「15. ゲストワークショップ2：うどんデータの活用」として、第14回から引き続き、ワークショップ講師をご担当いただきます。学生が実務に即したスキルと思考法を身につけられるよう、ご指導いただけますと幸いです。
	④ 2024 年 7 月 26 日 13 時 0 分 から 14 時 30 分 まで 「16. 成果発表会」として、学生が講義で学んだ知識とスキルを活用して取り組んだプロジェクトの発表を評価・フィードバックを提供していただけることを期待しています。学生の成長に対する貴重なアドバイスをいただければと思います。
	依頼する理由、期待する点
	講義で使用する機材・ソフト
オンラインでの講義実施の可否	※講義で利用できる、または使用しなければならない機材等をご記入ください 例：利用できる機材：プロジェクタ等 / 使用しなければならないソフト：Microsoft Excel プロジェクタ使用可。ワークショップはWindowsOSで利用可能なもの。Pythonを希望。
複数の実務家教員による共同担当の可否	※オンラインでの講義実施の可否をご記入ください 可 ※ただし①④に限る
事前打ち合わせの時期、回数	※1コマを複数人で対応することの可否をご記入ください 可
都合が悪くなった場合の対応	※打ち合わせの時期をご記入ください（例：授業の1か月前頃） 6月上旬に担当教員と打ち合わせ (回数 : 2 回程度)
	※休講、講義の変更、代役などの対応方法をご記入ください 例：講義日の変更あるいは休講 ※上記対応ができない場合は「不可」とご記入ください 講義日の変更により対応します。特に②③は対面が望ましいため、代役も検討します。
	その他特記事項
待遇	※詳細にご記入ください

	身分	外部講師
	報酬	本学の講師規定により支給
	旅費・交通費・日当	本学の旅費規程により支給
	その他	
	実務経験歴、 保有資格、 指導経験等	※特に求める資格等がなければ空欄で結構です ※行が不足しているようであれば、適宜追加してください データ分析を含む実務経験を5年以上有する者が望ましい